

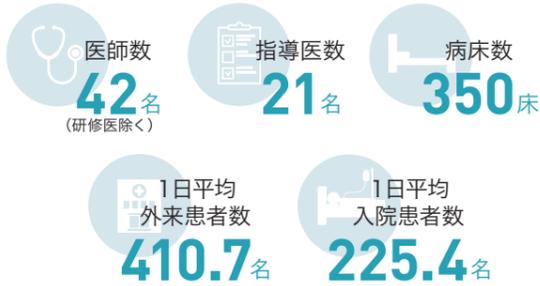


- ▶ 研修医数 1年目 2名、2年目 2名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 0名
- ▶ 研修医の主な出身大学

東京医科歯科大学、北海道大学、東京女子医科大学、藤田医科大学、東京医科大学、順天堂大学、山梨大学、千葉大学 ほか

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

初診内科（総合内科）、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、膠原病リウマチ内科、内科、一般外科、消化器外科、呼吸器外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、内視鏡外科、泌尿器科、形成外科、乳腺外科、病理診断科、リハビリテーション科、皮膚科、眼科、婦人科、麻酔科、放射線科、放射線診断科、救急科、血液透析

■ 主な認定施設

埼玉県がん診療指定病院、埼玉県搬送困難事例対応医療機関（6号基準）、二次救急指定病院、埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク、日本栄養療法推進協議会・NST（栄養サポートチーム）稼働施設

研修プログラムの特色

プライマリ・ケアを中心に、専門医へ到達する前段階として初期研修を位置づけ、知識・技術の修得のみならず医師としての倫理性、医療安全管理への対応、医療チームの一員としての協調性、患者及びその家族とのコミュニケーションなど、医師に必要な資質を涵養します。

1年目に医師としての基本能力を身につけるために内科（腎臓、循環器、内分泌代謝、呼吸器、消化器）・外科（消化器、一般、血管）・麻酔科・救急を必修としています。2年目に協力医療施設にて小児科・精神科・産婦人科・地域医療を行い、さらに選択科目として前出科に加えて整形外科・脳神経外科・泌尿器科より選択可能となっております。

1学年4人であり、さらに東京科学大学病院（旧：東京医科歯科大学病院）からのたすき掛け研修として1年目の研修医が1～2人加わります。

少人数であるため指導医とのマンツーマン研修が行える体制となっており、多くの手技も積極的に進める環境を整えております。

プログラム例 卒後初期臨床研修プログラム(募集定員2名)

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科								外科		麻酔科		救急
2年目	小児科	精神科	婦人科	地域医療	選択科目								

・必修 内科32週、外科8週、麻酔科8週、救急8週(4週+当直4週 ※当直4週は他科重複研修。週に1回程度実施)、小児科4週、精神科4週、産婦人科4週、地域医療4週

・自由選択36週 内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科より選択

■ 研修医の処遇

給与	約41万円/月	当直	あり(3~4回/月)
諸手当	通勤手当、当直手当	休暇	有給休暇(1年目:10日、2年目:11日)、土曜午後・土曜(隔週)・日曜・祝日、夏季休暇、年末年始
保険	協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり 厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険	宿舍	あり(2.5万円/月)
勤務時間	9時00分~17時00分	その他	昼食費補助あり、宿舎費補助あり、学会発表・研究会発表等への参加費用支給あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・東京科学大学病院（旧：東京医科歯科大学病院）
- ・秀和透析クリニック
- ・春日部在宅診療所ウエルネス



■ 当院の魅力

地域に密着した高度医療の研修で医師のキャリアをスタート

当院は春日部市にある急性期医療の中核病院です。各診療科に高度な専門性と豊富な経験を持つ専門医が在籍しており、最新の医療機器や治療法を用いて、患者さんの健康をサポートしています。多くの医師の出身母体である東京科学大学病院(旧：東京医科歯科大学病院)や獨協医科大学埼玉医療センターなどと密接な医療連携も保持しています。また、地域の医療機関との連携や協力を重視し、地域に根ざした医療を提供しています。

内科系は腎臓、循環器、内分泌代謝、呼吸器、消化器を常設し、さらに大学からの支援で脳神経内科、膠原病・リウマチ内科の外来診療を行っています。特に腎臓内科は開設40年以上の透析医療の長い歴史があり、別館・透析クリニックで関東最大級400例以上の維持透析を担っております。

外科系は消化器、末梢血管、泌尿器、整形外科、脳外科から乳腺外科皮膚科、形成外科まで幅広く対応しています。

救急医療に関しては、年間3,000台の救急車を受け入れており、2017年末から開始された埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク(Saitama Stroke Network: SSN)の参加施設として脳卒中治療を、また心筋梗塞、腹部大動脈瘤、肺炎などの急性期医療を行っており埼玉県の救急搬送困難事例対応病院としても救急診療に力を注いでおります。是非、高齢化率が高く比較的医師数の少ない当地で「地域に密着」した「最新の高度医療」の研修を受けてみてください。



女性医師支援

これまでの女性医師支援プログラムは院内保育・病児保育などを含めた柔軟な勤務体制の整備と活用が主な対応で、これらは既に卒業数年目の女性医師に実施されています。

臨床研修期間中は、その勤務形態や内容に男女別の分け隔てなく対応しながら適時、研修医の体調などを観察しながら、医師としての初めての貴重な経験に進進してもらおうべく注意深く育てて行く方針です。病院としては、研修医はチーム環境の中で多方面にお世話になりながら、一方では医師としての責務を自覚し、いずれはリーダーとして立ち立ちるように温かく優しい、頼れる女性医師として育てていきます。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

随時、病院見学を受付けております。



http://www.shuuwa-gh.or.jp/recruit/trainee_recruit.php
の『お問い合わせフォーム』からお申し込みください。

連絡先

病院名 秀和総合病院
所属 人事課(医局) 堀内
住所 〒344-0035 埼玉県春日部市谷原新田1200
TEL 048-737-2121(代表)
FAX 048-737-5575

E-mail sgh.ikyoku@shuuwa-gh.or.jp
URL <http://www.shuuwa-gh.or.jp>
アクセス 東武スカイツリーライン・東武アーバンパークライン「春日部駅」下車後、西口より朝日バス「秀和総合病院」下車 所要時間10分

研修責任者
から
メッセージ



プログラム責任者
桑原 博

当院は埼玉県東部医療圏の救急基幹病院で、地域の急性期医療を担っているのみならず、がん医療・緩和医療・健診センター・透析クリニックなど幅広く展開し、より専門性が高くより質の高い医療を提供できる病院として機能しています。また、病院には最新の医療機器や電子カルテシステム、文献検索などが行える図書室を備えており、快適に研修に取り組むことができる環境にあります。

当院がある春日部市は人口約23万人の街で、程よく落ち着いた暮らしやすい環境である一方、東武鉄道のスカイツリーラインとアーバンパークラインが乗り入れており、都心や大宮・千葉からのアクセスが良い場所にあります。普段はのんびり?研修に集中、休日はリフレッシュ目的で都会へ繰り出すなんてことも可能です。

単独採用の研修医は少ないのですが、東京医科歯科大学の協力病院としても研修医を受け入れておりますので、適度な人数の仲間たちと和気あいあいとした研修生活を送ることができます。充実した研修となるよう、我々指導医は全力でサポートしますので是非一緒に働きましょう。

先輩研修医
の声



研修医 1年目

吉井 俊一郎

当院では経験豊富な指導医の先生方の丁寧なご指導のもと、Common Diseaseを多く経験することができます。上級医の先方をはじめ、コメディカルの方々も皆さん優しく、手厚いサポートをしていただけるので、雰囲気の良い職場でストレスなく研修を送ることができます。

また、研修医の人数が多くない分、多彩な手技を沢山経験することができることも当院の魅力の1つです。それぞれの性格や個性に合った研修ができるため、自分に合った方法で実の是非研修を送ることができます。もし少しでも興味を持たれた方は、是非見学にお越しいただき、当院の魅力を感じていただければと思います。

研修医 2年目

家高 紘一郎



私が思う秀和総合病院の初期研修でのメリットは、①ローテートする科に研修医は1人しかいないため、その科での勉強になる症例や手技をほぼ全て経験することができること。②規模が大きすぎない分上級医の先生方に認識していただき、医局などでも気軽に相談できること。③コ・メディカルの方とも距離が近く、職種の垣根なく様々な相談をできること。の3点があります。救急外来でも市中病院ならではの症例を多く経験でき、初期対応などを積極的に任せていただきとても力がつきます。